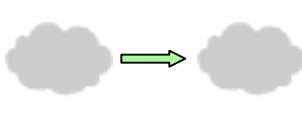
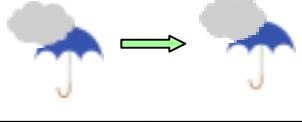
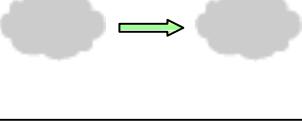
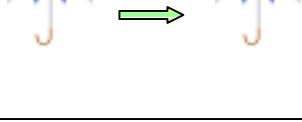
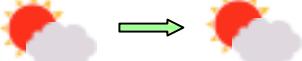


【産業動向概要】

産業全体	06年4月を中心とする県内経済の動向は、個人消費は緩やかに回復の動きが続いている。企業の生産活動、設備投資ともに堅調に推移している。有効求人倍率は24ヶ月連続で1倍を超え、雇用環境ははつきりとした改善傾向が続いている。このように、県内経済は、個人消費・企業の生産活動・雇用環境ともに改善しており、回復の動きを続けている。
------	--

観光・旅館業			伊豆全体のゴールデンウィークの観光客動向は、概ね前年並みか若干の低下基調で推移。消費単価は伸び悩んでおり、地域経済への効果は限定的。なお、地震発生の影響は全域にわたり軽微とみられる。
紙類			段ボール古紙価格がさらに上昇するなど、依然原料・燃料コストの負担が重い。家庭紙は大手・中小メーカーとも製品価格引き上げに動き、過剰供給による価格低迷傾向に変化が出ているが、足下のメーカーの採算は厳しい状態。段ボール原紙も同様に製品価格の引き上げが実現している。
	衛生用紙	板紙	
水産業			2月～4月の静岡県主要漁港の総水揚量は、前年比▲17%の減少。カツオ、マグロ等を中心に魚価は上昇したものの、水揚量の減少から、全体の水揚高は前年比▲5%の減少となった。
一般機械(主要)			金属工作機械は大幅な増加基調から伸びが鈍化し始めているが、建設機械や金型、電気・精密機械業界向けが好調で、自動車業界向けも秋口には回復するとみられている。金型は2期続けて前年比50%近く増加しており、パルプ及び製紙機械・プラスチック加工機械は9期ぶりに前年比増に転換した。
	金属工作機械	金型	
	パルプ及び製紙機械、 プラスチック加工機械		
木材			2月～4月の県内の住宅着工は順調に推移したが、製材品の生産実績は減少した。今後も在来工法住宅の伸び悩みが予想され、厳しい状況が続くものとみられる。価格については、米国の新設住宅着工が落ち着きをみせていることから、今後横這いないしは若干低下の見通し。
缶詰			ツナ缶は原料や採算性の確保が難しく、生産量の減少傾向が継続。コーン缶は需要がやや低下。清涼飲料市場は緑茶飲料をリード役に成長しているが、その伸びに鈍化傾向が見られ、各メーカーは特徴ある新商品に力を入れている。
	水産缶詰	農畜産缶	
	飲料缶類		
楽器			主力のピアノは1～3月にかけ生産台数、販売台数ともに前年実績を上回った。増加傾向にあった在庫も一時的で4月には減少。電子楽器類は国内向け電子オルガンを除き、堅調に推移。今後、海外生産シフトに伴う影響を注視する必要あり。
	ピアノ	電子楽器類	

輸送用機器		 → 			<p>2月～4月の二輪車生産台数は、国内向けが原付第2種が不振で前年比マイナスとなったが、一方の輸出向けは自動二輪が堅調でほぼ横ばいで推移。自動車部品は好調な北米向け輸出向けを背景に受注量は増加しているが、原材料価格、原油価格の上昇から利益率は低迷している。</p>
			二輪車		

				
明るい	やや明るい	停滞	やや不振	不振

《産業別天気マークの推移》

明るい やや明るい 停滞 やや不振 不振

調査対象時期 (公表時期)	04/4 (04/6)	04/7 (04/9)	04/10 (04/12)	05/1 (05/3)	05/4 (05/6)	05/7 (05/9)	05/10 (05/12)	06/1 (06/3)	06/4 (06/6)
概 情 									
観光・旅館業 									
紙 類 									
水 産 									
一般機械(主要) 									
木 材 									
缶 詰 									
楽 器 									
輸送用機器 									